

# これからの学びを考えてみよう!!

～「GIGAスクール構想」が学校にもたらすものとは～

「GIGA<sub>※</sub>スクール構想」の実現とは大きく「クラウド活用」「高速大容量通信環境」「1人1台学習者用端末」の3つを整備することを指します。『子どもたちの学びはどのように変わり、その変化に向け、学校や教師はどんな準備が必要であるか。』を共に考える資料として、校内研修等で活用ください。

※GIGA = Global and Innovation Gateway for All

第3号

## GIGAスクール構想で求められる情報セキュリティとは

「GIGAスクール構想」により、学校での学びは大きく変容します。その変容によって効果だけでなく、リスクも確実に増加します。

一部の情報担当者や管理者が意識するだけでは、情報セキュリティを確保することはできません。学校全体で情報セキュリティについての意識の統一化を図るため、是非取り組んでいただきたいのが、情報セキュリティ事故の発生を想定した研修です。

### 【情報セキュリティ事故対応研修例】

⚠ 規定の有無だけではなく、全員が共通の認識を持っているかを確認することが重要です。

#### ①前提確認（校内のICTに関する規定を確認する。）

- ・ SNSやクラウドサービスなどの利用について
- ・ ID・パスワードの管理について
- ・ PCやUSBメモリの使用や持ち込み、持ち出しについて
- ・ 個人情報の取り扱いについて
- ・ 職員室等のレイアウトや児童生徒の入室について 等

#### ②増加が予想されるリスクの洗い出し

- ・ 情報の漏洩、流出
- ・ ID・パスワードの管理
- ・ 不正アクセス（乗っ取り、なりすまし等）
- ・ 備品の破損や紛失 等

⚠ 情報セキュリティ事故は同時多発的に広範囲で発生しやすいことが特徴です。適切なアクション（初動対応）をするために、事象の正確な把握の手段と、対処の優先順位の付け方を全員で確認することが重要です。

#### ③情報セキュリティ事故の想定（できるだけ具体的に）

- ・ ある先生がクラウドにログインできなくなった。
  - ・ SNSでグループ外しをされた生徒が登校できなくなった。
  - ・ 先生が作ったテスト問題がSNS上に公開されている。
  - ・ 生徒の端末が紛失し、サイト上で売買されている。 等
- （※これらが同時に発生することも考えられます。）

#### ④事故の分析

- ・ 具体的に何が起きている？
- ・ 事象発生の原因や背景は何か？

#### 【参考となる情報】

#### 学校情報セキュリティお役立ちWeb「今日もワンステップ！」

全国の公立学校向けに情報セキュリティ事故の脅威や、簡単にできる対策方法などを紹介しているサイトです。実際に発生した情報セキュリティ事故や、簡単にできるセキュリティ対策の紹介、情報セキュリティに関する危険チェックシートなど研修に役立つ様々な資料が無料で利用できます。

他にも、学校でICTを利活用する際に役立つ様々な情報が掲載されています。是非参考にして研修に活用ください。

（HPアドレス：<https://school-security.jp/>）



#### ⑤アクション（初動対応）を考える

- ・ 学校現場でまずは何から対応するか。
- ・ 対外的（保護者や関係機関等）に何をするか。

#### ⑥振り返り

- ・ 事象（事故）発生となり得る行動について、問題意識の共有はできていますか？
- ・ 事象の正確な把握と、対処の優先順位付けはできましたか？
- ・ 外部（学校現場、教育委員会、関係機関）との連携のイメージは持てましたか？



「GIGAスクール構想」実現後の学校という、誰一人経験したことがない状況を、教職員全員でイメージしてみることから始めてみましょう。